



## 2019年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2019年5月10日

上場会社名 白銅株式会社  
コード番号 7637 URL <https://www.hakudo.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 角田 浩司

問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長 (氏名) 谷口 彰洋

TEL 03-6212-2811

定時株主総会開催予定日 2019年6月27日 配当支払開始予定日

2019年6月28日

有価証券報告書提出予定日 2019年6月28日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年3月期の連結業績(2018年4月1日～2019年3月31日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期	45,228	3.5	2,249	19.2	2,333	18.0	1,564	22.8
2018年3月期	43,709	26.2	2,784	40.3	2,845	39.3	2,028	44.3

(注) 包括利益 2019年3月期 1,517百万円 (28.5%) 2018年3月期 2,124百万円 (62.7%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2019年3月期	137.98		9.4	6.9	5.0
2018年3月期	178.81		13.1	9.1	6.4

(参考) 持分法投資損益 2019年3月期 百万円 2018年3月期 百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期	33,616	16,928	50.4	1,492.53
2018年3月期	34,191	16,261	47.6	1,433.70

(参考) 自己資本 2019年3月期 16,928百万円 2018年3月期 16,261百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2019年3月期	2,073	1,027	850	6,087
2018年3月期	3,103	1,379	663	5,902

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2018年3月期		0.00		75.00	75.00	850	41.9	5.5
2019年3月期		0.00		77.00	77.00	873	55.8	5.3
2020年3月期(予想)		0.00		58.00	58.00		40.4	

### 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	22,000	5.6	1,110	10.6	1,150	10.3	770	14.0	67.89
通期	45,400	0.4	2,330	3.6	2,410	3.3	1,630	4.2	143.71

注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 以外の会計方針の変更 : 無  
 会計上の見積りの変更 : 無  
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期	11,343,300 株	2018年3月期	11,343,300 株
期末自己株式数	2019年3月期	1,292 株	2018年3月期	1,292 株
期中平均株式数	2019年3月期	11,342,008 株	2018年3月期	11,342,027 株

(参考)個別業績の概要

1. 2019年3月期の個別業績(2018年4月1日～2019年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期	43,938	3.2	2,360	13.4	2,334	15.9	1,564	20.5
2018年3月期	42,587	26.6	2,724	39.9	2,775	38.2	1,967	43.4

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり 当期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期	137.91	
2018年3月期	173.48	

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭		
2019年3月期	32,616		16,754		51.4	1,477.23		
2018年3月期	33,788		16,048		47.5	1,415.00		

(参考) 自己資本 2019年3月期 16,754百万円 2018年3月期 16,048百万円

2. 2020年3月期の個別業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
第2四半期(累計)	20,800	8.0	1,150	8.7	780	10.4	68.77	
通期	43,200	1.7	2,410	3.2	1,640	4.8	144.60	

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	5
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	6
(1) 連結貸借対照表 .....	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	8
連結損益計算書 .....	8
連結包括利益計算書 .....	9
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	13
(継続企業の前提に関する注記) .....	13
(会計方針の変更) .....	13
(表示方法の変更) .....	13
(連結キャッシュ・フロー計算書関係) .....	14
(セグメント情報等) .....	15
(1株当たり情報) .....	19
(重要な後発事象) .....	19
4. その他 .....	20

## 1. 経営成績等の概況

## (1) 当期の経営成績の概況

## ① 当期の経営成績

## (a) 売上高

売上高は、前連結会計年度比3.5%増加し、452億2千8百万円となりました。

当連結会計年度におけるわが国経済は、良好な雇用・所得環境により企業の景況感は幅広い業種で、緩やかな回復基調が継続しました。しかしながら、米中貿易摩擦問題や中国をはじめとするアジア新興国経済の減速などにより、企業収益の改善や設備投資に足踏みがみられ、先行き不透明感が継続しています。

当社グループ業績に影響が大きい半導体製造装置業界は、当連結会計年度後半以降、世界的なメモリ価格の低下や需給の緩みを受け、設備投資が減速しました。また、FPD製造装置業界も同様に大きく減速しました。

このような状況のなか当社グループは、2017年11月に国内5番目の工場となる埼玉工場開設による生産能力の増強を行いました。また、ロボットなど省人・省力化生産設備の積極投入、IoT(Internet of Things)の推進による製造現場の革新、製造キャパシティのアップを行うとともに、お客様センターの対応品質の向上、社員教育の充実による能力向上により、顧客満足度の向上を図っております。また、高精度材料をラインナップした「ハイスpekシリーズ」、欧州の厳しい環境規制に適合した「エコシリーズ」、航空・宇宙規格に適合した「航空宇宙規格材料シリーズ」など需要拡大が見込める特徴ある材料を中心に品揃えを増やしたことにより、当社標準在庫点数を2016年3月末時点の4,300品目サイズから5,200品目サイズへ拡充しました。

また、2018年6月より、24時間365日お見積り・ご注文が可能なWEBサイト「白銅ネットサービス」の他社在庫品がお取り寄せできる品目サイズを拡充させ、当社標準在庫品と他社在庫品合わせて12,000品目サイズがご利用可能となりました。今後とも、継続的に利便性の向上に取り組んでまいります。

海外事業の拡大については、2017年2月にベトナム国ホーチミン市に駐在員事務所を開設し、東南アジア地域の市場調査および情報収集を強化しております。また、上海白銅精密材料有限公司においても「白銅ネットサービス」の中国版である「上海白銅ネットサービス」の利用度の向上に取り組んでおります。

新規事業の構築では、2017年4月より2台目の3Dプリンターを増設し、2018年4月より、アルミダイカスト製品の材料として広く使われ、日本工業規格(JIS)の規格品でもある「ADC12」の粉末を使うアルミ造形サービスを開始しました。また、“3D+ONE”をキャッチフレーズに、設計サポートから量産化対応までの3D造形に関するトータルソリューションをご提供してまいります。

これらの結果、標準在庫品・特注品ともに販売重量は増加し、売上高が前連結会計年度比で増加となりました。

## (b) 営業利益

営業利益は、前連結会計年度比19.2%減少し、22億4千9百万円となりました。

営業利益の主な減少要因は、原材料市況の影響によるもので、前連結会計年度の商品在庫に係わる相場差益は3億9千3百万円でしたが、当連結会計年度の商品在庫に係わる相場差益は3千1百万円となりました。

人件費および運賃の増加、製造キャパシティのアップや新規事業の拡大にともなう設備投資、また、2019年2月15日に行なった高瀬アルミ株式会社の買収に伴うのれんの一括償却9千7百万円の発生等により経費は増加しました。

原材料市況の影響額を除いた営業利益は、前連結会計年度比で7.2%減少し、22億1千7百万円となりました。

## (c) 経常利益

経常利益は、営業利益の減少により前連結会計年度比18.0%減少し、23億3千3百万円となりました。

以上の結果、親会社株主に帰属する当期純利益は、15億6千4百万円（前連結会計年度比22.8%減）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりとなります。

当連結会計年度（自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）

セグメント	売上高	営業損益	経常損益	親会社株主に帰属する 当期純損益
日本	43,339百万円	2,236百万円	2,319百万円	1,550百万円
中国	1,306百万円	△22百万円	△23百万円	△16百万円
その他	582百万円	35百万円	37百万円	30百万円

## ② 当社を取り巻く環境

原材料市況は、アルミニウム地金（日本経済新聞月別平均値）がトン当たり前連結会計年度末の27万5千円から当連結会計年度末は26万1千円に、ステンレス鋼板（鉄鋼新聞月別中心値）は前連結会計年度末の36万円から当連結会計年度末は35万円に下落しました。

また、電気銅建値は期中変動があったものの、トン当たり前連結会計年度末も当連結会計年度末も変わらず74万円の同値となりました。

## (2) 当期の財政状態の概況

## (資産)

当連結会計年度末の資産合計は、336億1千6百万円と、対前連結会計年度末比で5億7千4百万円減少しました。

流動資産は、253億4千3百万円と、対前連結会計年度末比で11億1千8百万円減少しました。減少額内訳は、受取手形及び売掛金20億4千2百万円等です。増加額内訳は、商品及び製品4億2千9百万円、現金及び預金1億8千5百万円等です。

固定資産は、82億7千3百万円と、対前連結会計年度末比で5億4千3百万円増加しました。増加額内訳は、有形固定資産3億4千8百万円、無形固定資産1億4千5百万円、投資その他の資産4千9百万円です。

## (負債)

流動負債は、166億3千万円と、対前連結会計年度末比で12億6千9百万円減少しました。減少額内訳は、支払手形及び買掛金26億円、未払法人税等1億6千8百万円等です。増加額内訳は、電子記録債務12億5千9百万円、1年以内返済予定長期借入金3億5千7百万円等です。

固定負債は、5千7百万円と、対前連結会計年度末比で2千7百万円増加しました。増加額内訳は、退職給付に係る負債2千6百万円等です。

## (純資産)

純資産は、169億2千8百万円と、対前連結会計年度末比で6億6千7百万円増加しました。増加額は、利益剰余金7億1千4百万円他、合計6億6千7百万円です。

自己資本比率は、前連結会計年度末の47.6%から50.4%となりました。

なお、「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 2018年2月16日）を当連結会計年度の期首から適用しており、財政状態については遡及処理後の前連結会計年度末の数値で比較を行っております。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）残高は、前連結会計年度末に比べ、1億8千5百万円増加し、60億8千7百万円となりました。

その内訳は次のとおりです。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローによって資金は、20億7千3百万円増加しました。

これは、税金等調整前当期純利益23億3千3百万円、減価償却費8億円、売上債権の減少18億6千5百万円、仕入債務の減少15億6千4百万円、たな卸資産の増加3億5百万円、法人税等を9億4千1百万円支出したこと等によるものです。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローによって資金は、10億2千7百万円減少しました。

これは、有形固定資産の取得により9億5千2百万円を支出、無形固定資産の取得により2億1千5百万円を支出したこと等によるものです。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローによって資金は、8億5千万円減少しました。

これは、配当金を8億5千万円支出したことによります。

## 当社グループのキャッシュ・フロー関連指標の推移

	2015年3月期	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期
自己資本比率 (%)	53.7	55.6	51.7	47.6	50.4
時価ベースの 自己資本比率 (%)	61.5	47.8	68.6	73.7	52.4
キャッシュ・フロー対 有利子負債比率 (年)	—	—	—	—	0.2
インタレスト・ カバレッジ・レシオ (倍)	—	—	—	—	—

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

※いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

※株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数（自己株式控除後）により算出しております。

※有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち、利子を支払っている全ての負債を対象としておりますが、キャッシュ・フロー対有利子負債比率（年）は2015年3月期～2018年3月期の期間、利子を支払っている負債がないので、記載が「—」になっております。インタレスト・カバレッジ・レシオは、2015年3月期以降、利子を支払っている負債がないので、記載が「—」になっております。

※キャッシュ・フローおよび利払いは、連結キャッシュ・フロー計算書に計上されている「営業活動によるキャッシュ・フロー」および「利息の支払額」を用いております。

## (4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、雇用・所得環境の改善が続くと予想されるものの、米中貿易摩擦の長期化の影響や国内における消費増税等、日本経済に影響を与える不安要素もあり安心できません。

以上の点も織り込み、翌連結会計年度の業績見通しは、売上高は454億円（当連結会計年度比0.4%増）、営業利益は23億3千万円（当連結会計年度比3.6%増）、経常利益は24億1千万円（当連結会計年度比3.3%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は16億3千万円（当連結会計年度比4.2%増）を予想しております。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、当社（白銅株式会社）と連結子会社の高瀬アルミ株式会社、上海白銅精密材料有限公司および Hakudo(Thailand)Co., Ltd. によって構成されております。

海外からの資金調達の必要性が乏しいため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

なお、今後の I F R S 適用については、国内の動向等を踏まえ、適切に対応していく方針です。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当連結会計年度 (2019年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,902,036	6,087,648
受取手形及び売掛金	14,044,937	12,000,889
電子記録債権	950,229	1,330,099
商品及び製品	5,411,888	5,841,088
原材料及び貯蔵品	37,923	24,869
その他	130,071	81,433
貸倒引当金	△15,320	△22,657
流動資産合計	26,461,766	25,343,370
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	7,389,100	7,490,038
減価償却累計額	△5,471,314	△5,624,313
建物及び構築物（純額）	1,917,785	1,865,725
機械装置及び運搬具	5,885,708	6,718,752
減価償却累計額	△3,368,045	△3,825,164
機械装置及び運搬具（純額）	2,517,662	2,893,587
土地	1,899,876	1,903,901
その他	535,106	608,781
減価償却累計額	△383,627	△436,831
その他（純額）	151,479	171,949
有形固定資産合計	6,486,803	6,835,164
無形固定資産	260,988	406,893
投資その他の資産		
投資有価証券	438,138	444,180
繰延税金資産	300,191	290,732
退職給付に係る資産	65,118	59,308
その他	178,297	236,790
投資その他の資産合計	981,745	1,031,011
固定資産合計	7,729,538	8,273,069
資産合計	34,191,304	33,616,440

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当連結会計年度 (2019年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,107,771	7,507,566
電子記録債務	5,661,743	6,921,325
未払費用	768,570	692,770
1年内返済予定の長期借入金	-	357,196
未払法人税等	540,763	372,195
賞与引当金	373,100	306,273
役員賞与引当金	98,000	57,000
その他	349,949	416,134
流動負債合計	17,899,898	16,630,460
固定負債		
繰延税金負債	-	794
長期預り保証金	14,150	14,150
退職給付に係る負債	-	26,620
その他	16,222	16,099
固定負債合計	30,372	57,664
負債合計	17,930,271	16,688,125
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,000,000	1,000,000
資本剰余金	621,397	621,397
利益剰余金	14,364,487	15,078,809
自己株式	△1,460	△1,460
株主資本合計	15,984,424	16,698,746
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	129,019	121,336
為替換算調整勘定	147,589	108,231
その他の包括利益累計額合計	276,608	229,567
非支配株主持分	0	0
純資産合計	16,261,033	16,928,314
負債純資産合計	34,191,304	33,616,440

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
売上高	43,709,473	45,228,017
売上原価	36,182,778	38,026,859
売上総利益	7,526,695	7,201,157
販売費及び一般管理費	4,741,858	4,951,447
営業利益	2,784,837	2,249,709
営業外収益		
受取利息	7,010	5,981
受取配当金	6,383	6,548
不動産賃貸料	70,811	79,141
その他	10,671	29,289
営業外収益合計	94,876	120,961
営業外費用		
不動産賃貸費用	13,289	24,016
支払手数料	499	496
為替差損	7,785	-
固定資産処分損	2,517	2,964
訴訟関連費用	6,249	-
ゴルフ会員権評価損	-	4,852
その他	3,644	4,512
営業外費用合計	33,985	36,842
経常利益	2,845,728	2,333,828
税金等調整前当期純利益	2,845,728	2,333,828
法人税、住民税及び事業税	861,382	765,741
法人税等調整額	△43,729	3,113
法人税等合計	817,653	768,855
当期純利益	2,028,075	1,564,973
非支配株主に帰属する当期純利益	0	0
親会社株主に帰属する当期純利益	2,028,075	1,564,973

(連結包括利益計算書)

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
当期純利益	2,028,075	1,564,973
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	32,677	△7,682
為替換算調整勘定	63,286	△39,358
その他の包括利益合計	95,963	△47,041
包括利益	2,124,039	1,517,932
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	2,124,039	1,517,932
非支配株主に係る包括利益	0	0

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,000,000	621,397	12,999,925	△1,271	14,620,051
当期変動額					
剰余金の配当			△663,513		△663,513
親会社株主に帰属する 当期純利益			2,028,075		2,028,075
自己株式の取得				△188	△188
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	1,364,561	△188	1,364,372
当期末残高	1,000,000	621,397	14,364,487	△1,460	15,984,424

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	96,342	84,302	180,644	0	14,800,697
当期変動額					
剰余金の配当					△663,513
親会社株主に帰属する 当期純利益					2,028,075
自己株式の取得					△188
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	32,677	63,286	95,963	0	95,964
当期変動額合計	32,677	63,286	95,963	0	1,460,336
当期末残高	129,019	147,589	276,608	0	16,261,033

当連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,000,000	621,397	14,364,487	△1,460	15,984,424
当期変動額					
剰余金の配当			△850,650		△850,650
親会社株主に帰属する 当期純利益			1,564,973		1,564,973
自己株式の取得					—
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	714,322	—	714,322
当期末残高	1,000,000	621,397	15,078,809	△1,460	16,698,746

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	129,019	147,589	276,608	0	16,261,033
当期変動額					
剰余金の配当					△850,650
親会社株主に帰属する 当期純利益					1,564,973
自己株式の取得					—
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△7,682	△39,358	△47,041	0	△47,041
当期変動額合計	△7,682	△39,358	△47,041	0	667,281
当期末残高	121,336	108,231	229,567	0	16,928,314

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	2,845,728	2,333,828
減価償却費	768,464	800,762
のれん償却額	—	97,702
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△984	2,357
賞与引当金の増減額 (△は減少)	60,675	△66,678
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	25,000	△41,000
受取利息及び受取配当金	△13,393	△12,530
有形固定資産売却損益 (△は益)	2,517	2,964
売上債権の増減額 (△は増加)	△3,319,841	1,865,484
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△469,754	△305,377
仕入債務の増減額 (△は減少)	3,736,146	△1,564,210
その他	248,623	△110,733
小計	3,883,180	3,002,568
利息及び配当金の受取額	13,393	12,530
法人税等の支払額	△793,506	△941,257
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,103,067	2,073,841
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△1,283,021	△952,081
有形固定資産の売却による収入	2,939	2,229
無形固定資産の取得による支出	△78,995	△215,037
投資有価証券の取得による支出	△7,393	△11,702
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	—	※2 153,014
その他の支出	△16,309	△7,665
その他の収入	3,294	3,720
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,379,486	△1,027,523
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	△188	—
配当金の支払額	△663,481	△850,468
財務活動によるキャッシュ・フロー	△663,670	△850,468
現金及び現金同等物に係る換算差額	21,849	△10,237
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,081,761	185,611
現金及び現金同等物の期首残高	4,820,275	5,902,036
現金及び現金同等物の期末残高	※1 5,902,036	※1 6,087,648

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」の適用に伴う変更)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)を当連結会計年度の期首から適用し、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示する方法に変更しました。この結果、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」の「繰延税金資産」278,475千円は、「投資その他の資産」の「繰延税金資産」300,191千円に含めて表示しております。

(連結キャッシュ・フロー計算書関係)

※1 現金及び現金同等物の期末残高と連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
現金及び預金勘定	5,902,036千円	6,087,648千円
現金及び現金同等物	5,902,036	6,087,648

※2 株式の取得により新たに連結子会社となった会社の資産及び負債の主な内訳

当連結会計年度に株式の取得により新たに連結子会社となった会社の資産及び負債の主な内訳

株式の取得により新たに高瀬アルミ株式会社を連結したことに伴う連結開始時の資産及び負債の内訳並びに高瀬アルミ株式の取得価額と高瀬アルミ株式会社取得による収入（純額）との関係は次のとおりであります。

流動資産	512,463千円
固定資産	81,958
のれん	97,702
流動負債	△644,297
固定負債	△26,826
高瀬アルミ株式会社株式の取得価額	21,000
高瀬アルミ株式会社現金及び現金同等物	△174,014
差引：高瀬アルミ株式会社取得による収入	153,014

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。当社グループの事業は、金属事業の単一事業であり、国内においては当社が、中国においては上海白銅精密材料有限公司が担当しております。両会社はそれぞれ独立した経営単位であり、各地域の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社は、販売体制を基礎とした地域別のセグメントから構成されており、「日本」、「中国」の2つを報告セグメントとしております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計処理の原則および手続に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は、親会社株主に帰属する当期純利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部売上高又は振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報  
前連結会計年度(自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			その他	合計
	日本	中国	計		
売上高					
外部顧客への売上高	41,983,352	1,349,205	43,332,558	376,915	43,709,473
セグメント間の内部売上高 又は振替高	604,058	-	604,058	-	604,058
計	42,587,411	1,349,205	43,936,617	376,915	44,313,532
セグメント利益又は損失(△)	1,967,589	32,440	2,000,029	12,575	2,012,604
セグメント資産	33,788,214	1,454,367	35,242,581	300,819	35,543,400
セグメント負債	17,739,263	222,396	17,961,660	109,397	18,071,057
その他の項目					
減価償却費	742,677	24,853	767,531	932	768,464
のれん償却額	-	-	-	-	-
税金費用 (法人税等及び法人税等調整額)	808,182	11,429	819,611	-	819,611
有形固定資産 及び無形固定資産の増加額	1,293,497	17,830	1,311,328	388	1,311,716

(注)「その他」の区分には、Hakudo(Thailand)Co., Ltd.を含んでおります。

## 当連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			その他	合計
	日本	中国	計		
売上高					
外部顧客への売上高	43,339,048	1,306,489	44,645,538	582,478	45,228,017
セグメント間の内部売上高 又は振替高	579,240	-	579,240	-	579,240
計	43,918,288	1,306,489	45,224,778	582,478	45,807,257
セグメント利益又は損失(△)	1,564,188	△16,021	1,548,166	30,746	1,578,913
セグメント資産	33,208,383	1,354,760	34,563,144	355,509	34,918,653
セグメント負債	16,532,079	175,826	16,707,906	135,684	16,843,590
その他の項目					
減価償却費	775,139	24,447	799,587	1,175	800,762
のれん償却額	97,702	-	97,702	-	97,702
税金費用 (法人税等及び法人税等調整額)	770,272	△7,091	763,180	6,558	769,738
有形固定資産 及び無形固定資産の増加額	1,265,048	32,563	1,297,612	2,979	1,300,591

(注)「その他」の区分には、Hakudo(Thailand)Co., Ltd.を含んでおります。

4. 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

売上高	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	43,936,617	45,224,778
その他	376,915	582,478
セグメント間取引消去	△604,058	△579,240
連結損益計算書の売上高	43,709,473	45,228,017

(単位:千円)

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	2,000,029	1,548,166
その他	12,575	30,746
セグメント間取引消去	15,470	△13,939
連結損益計算書の親会社株主に帰属する当期純利益	2,028,075	1,564,973

(単位:千円)

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	35,242,581	34,563,144
その他	300,819	355,509
セグメント間取引消去	△1,352,096	△1,302,213
連結貸借対照表の資産合計	34,191,304	33,616,440

(単位:千円)

負債	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	17,961,660	16,707,906
その他	109,397	135,684
セグメント間取引消去	△140,786	△155,465
連結貸借対照表の負債合計	17,930,271	16,688,125

(単位:千円)

その他の項目	報告セグメント計		その他		調整額		連結財務諸表計上額	
	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度
税金費用	819,611	763,180	—	6,558	△1,958	△884	817,653	768,855

【関連情報】

前連結会計年度（自 2017年4月1日 至 2018年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、特定の顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の10%以下のため、記載を省略しております。

当連結会計年度（自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、特定の顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の10%以下のため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（自 2017年4月1日 至 2018年3月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）

該当事項はありません。

## 【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度（自 2017年4月1日 至 2018年3月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント			その他	合計
	日本	中国	計		
当期償却額	97,702	—	97,702	—	97,702
当期末残高	—	—	—	—	—

## 【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度（自 2017年4月1日 至 2018年3月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）

該当事項はありません。

## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
1株当たり純資産	1,433.70円	1,492.53円
1株当たり当期純利益	178.81円	137.98円

なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(注) 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	2,028,075	1,564,973
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属す る当期純利益(千円)	2,028,075	1,564,973
期中平均株式数(株)	11,342,027	11,342,008

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。

#### 4. その他

##### 役員の変動

###### ①代表者の変動

該当事項はありません。

###### ②その他役員の変動

- ・ 新任監査等委員取締役候補者

末岡 晶子 (弁護士)

(注) 末岡 晶子氏は、社外取締役の候補者であります。

- ・ 退任予定監査等委員取締役

二井矢 聡子 (弁護士)

###### ③就任予定日

2019年6月27日